

令和6年度

病害虫発生予察情報

第 13 号

注意報第6号

北海道病害虫防除所 令和6年(2024年)7月10日

<http://www.agri.hro.or.jp/boujosho/>

Tel:0123(89)2080・Fax:0123(89)2082

小豆でマメアブラムシが急増！ 発生の多いほ場では、すみやかな防除を！

長沼町、芽室町及び訓子府町の各予察ほ場の小豆で、マメアブラムシの密度上昇が平年より早く認められています。特に芽室町では、7月5日時点で寄生株率が96.0%（平年：23.8%）に達しました。

本種は、生育に好適な高温条件が続くと短期間で密度が上昇します。また高密度の寄生により吸汁加害された小豆は生育が抑制されます。

播種時に殺虫剤による種子塗沫を行ったほ場では、本種の寄生が低く抑えられる傾向にありますが、一部のほ場では種子塗沫を行っていても本種の密度上昇が始まっています。

本種による被害を防ぐためにもほ場を定期的に観察し、発生の多いほ場ではすみやかな防除を心がけましょう。

1. 発生地域 全道

2. 発生程度 多

3. 注意報発令の根拠

- 1) 長沼町、芽室町及び訓子府町の予察ほ場において、平年より多い発生が認められた（表）。
- 2) 札幌管区气象台より7月4日付けで発表された1ヶ月予報では、向こう1ヶ月の気温は平年より高いと予報されており、今後もマメアブラムシの増殖に好適な条件が続くものと見込まれる。

4. 防除対策

- 1) 殺虫剤の茎葉散布を行う。使用薬剤は「北海道農作物病害虫・雑草防除ガイド」に準拠して選定する。
- 2) 薬剤散布量が不十分な場合は防除効果が劣ることがあるため、薬剤散布にあたっては、薬液がアブラムシに十分量かかるよう心がける。
- 3) 薬剤を散布しても、短期間のうちに密度が回復することがあるので、定期的にほ場を観察し、密度の回復が認められる場合には異なる系統の薬剤を用いて追加防除を行う。

表 予察ほにおけるマメアブラムシの寄生株率(%)

月・半旬	長沼		芽室		訓子府	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年
6月2半旬	0	0.0	0	0.2	未調査	0.0
3半旬	20	2.4	0	0.3	0	0.4
4半旬	56	12.3	4	2.3	0	0.8
5半旬	0	19.6	24	7.5	0	1.2
6半旬	8	13.6	56	19.1	2	4.8
7月1半旬	4	10.9	96	23.8	28	9.6
平年数	9		10		10	



写真. マメアブラムシが高密度に寄生した小豆個体